

資料3 学校評価 項目別評価結果<肯定的回答・「わからない」の回答>の年度別比較

1 入学満足度・指導方針について

質問	肯定的回答											「わからない」の回答						
	教員	順位	1学年	2学年	3学年	生徒	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	
① <教員>三田高校に入学させてよかったと思っている、生徒・保護者が多いと思いますか。 <生徒・保護者>三田高校に入学して（させて）よかったと思いますか。	R4	100%	1	94.3%	95.0%	94.2%	94.5%	3	98.2%	93.3%	92.5%	94.8%	1	0.0%	2.9%	2.7%	1.8%	23
	R3	100%	1	96.1%	94.3%	94.2%	94.9%	3	95.0%	96.6%	97.9%	96.4%	1	3.0%	1.4%	0.7%	1.8%	23
	R2	97.8%	6	93.8%	95.5%	96.3%	95.1%	3	97.1%	97.1%	95.5%	96.6%	1	0.4%	2.8%	1.6%	2.5%	24
② ※三田高校の、「教養・探究・立志そして世界へ」というスローガンを知っていますか。R1・2 三田高校の、「自律・自学・チーム三田で高い志の進路実現」というスローガンを知っていますか。	R4	92.5%	15	68.8%	72.1%	60.0%	67.0%	20	70.3%	71.9%	69.5%	70.6%	15	6.8%	3.3%	3.2%	4.5%	18
	R3	95.7%	14	77.3%	58.2%	51.4%	63.0%	25	73.7%	69.2%	74.1%	72.1%	15	7.6%	3.8%	4.9%	5.5%	15
	R2	84.4%	22	40.4%	43.9%	58.1%	46.6%	26	59.3%	52.9%	59.1%	56.8%	26	9.2%	6.8%	6.6%	7.1%	16

①「入学満足度」については、生徒・保護者・教員ともに肯定的回答が多い。自由記述においても、他の項目は要望や否定的な内容が多いが、本項目については肯定的回答が多く、生徒・保護者は概ね本校に入学したことに満足していると判断できる。生徒の自由記述は、学校生活、友人関係や教員に関する内容が多い。保護者は、学校生活や教員の指導に感謝する内容が多い。

②一昨年度は、生徒・保護者では肯定的回答が他の設問に比べて肯定的回答が極めて少なく、全設問中3番目に少なく、教員でも約16%が知らないという結果であった。昨年度は、入学者選抜で示されている「本校の期待する生徒の姿」の冒頭にスローガンとして記載されている「教養・探究・立志そして世界へ」について尋ねた。生徒・保護者・教員ともに肯定的回答が10～16%以上増加した。生徒については学年による差が顕著になり、学年が下がるにつれて肯定的回答が多く、特に1年生と2年生の差は約19%と大きかった。今年度は1年生の方が2年生より認知度が低かった。全体としては昨年度より僅かに認知度が高かった。

2 学習について

質問	肯定的回答											「わからない」の回答						
	教員	順位	1学年	2学年	3学年	生徒	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	
③ <教員>三田高校には、真面目に授業に取り組む生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた（あなたのお子さん）は、真面目に授業に取り組んでいますか。	R4	100%	1	92.8%	88.7%	88.8%	90.2%	7	87.2%	83.8%	86.6%	85.9%	9	1.8%	5.2%	1.6%	2.9%	22
	R3	97.9%	9	94.1%	85.4%	90.4%	89.9%	7	89.9%	88.5%	90.9%	89.6%	7	2.5%	4.3%	0.7%	2.7%	18
	R2	100%	1	90.2%	88.4%	86.5%	88.5%	7	89.0%	87.4%	88.1%	88.2%	9	3.8%	2.3%	3.5%	6.3%	18
④ <教員>三田高校には、熱心に自宅学習に取り組む生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた（あなたのお子さん）は、熱心に自宅学習に取り組んでいますか。	R4	94.4%	11	63.1%	53.8%	83.3%	66.6%	21	65.3%	66.7%	79.7%	70.1%	17	0.9%	1.9%	1.1%	1.3%	25
	R3	93.6%	16	55.3%	55.6%	83.7%	63.5%	24	65.2%	65.4%	85.3%	70.5%	19	1.0%	0.5%	0.0%	0.5%	27
	R2	91.1%	18	56.0%	52.8%	79.1%	61.4%	24	69.4%	67.5%	81.9%	72.2%	19	1.7%	1.7%	1.8%	2.5%	23
⑤ <教員>あなたは、教材や教え方に様々な工夫をしていますか。 <生徒・保護者・教員R1>三田高校には、教材や教え方に様々な工夫をしている教員が多いと思いますか。	R4	100%	1	88.6%	85.8%	84.6%	86.4%	13	49.3%	59.0%	59.5%	55.7%	23	43.4%	30.0%	29.2%	34.5%	4
	R3	100%	1	87.8%	84.3%	92.3%	87.8%	9	54.5%	59.9%	76.2%	62.2%	25	41.4%	30.0%	16.8%	30.7%	3
	R2	100%	1	82.5%	78.4%	91.6%	83.7%	14	56.7%	61.1%	79.1%	64.7%	22	27.6%	15.3%	28.4%	28.8%	4
⑥ <教員>あなたは、学習上の質問に適切に対応していますか。 <生徒・保護者・教員R1>>三田高校では、学習上の質問に教員は、適切に対応していると思いますか。	R4	100%	1	95.8%	96.7%	93.3%	95.3%	2	56.2%	69.5%	70.8%	65.1%	19	41.6%	26.2%	22.7%	30.6%	6
	R3	97.9%	9	98.8%	96.2%	96.6%	97.2%	2	64.0%	63.8%	82.5%	68.7%	20	33.0%	30.0%	15.4%	27.2%	5
	R2	95.6%	12	96.4%	94.1%	99.1%	96.3%	2	62.3%	64.9%	80.8%	68.5%	21	26.4%	15.3%	26.3%	28.4%	5

③「授業への取組」については、直近3年間生徒・保護者ともにほぼ横ばい状態である。学年別に見ると、直近3年間共通して生徒では1年生で自己評価が最も高い。三者ともに、生徒は真面目に授業に取り組んでいると評価している。

④「自宅学習への取組」については、直近3年間では教員と生徒はともに、肯定的回答が少しずつ増加している。学年別に見ると、3年間共通して、生徒・保護者ともに、受験を控えている3年生の肯定的回答が突出して多い。

⑤「教員の教材・教え方への工夫」、⑥「教員の質問への対応」では、教員については令和2年度から教員自身について尋ねる形式に変更したが、⑤では100%を維持している。教員は「質問への対応」も「教え方の工夫」の方も自己評価が高い。生徒・保護者は逆に「質問への対応」に対する評価の方が高い。ただし、保護者の回答では、「わからない」が30%から40%あるため、肯定的回答は50から60%台にとどまっており、生徒と比べて肯定的回答が25%以上少ない。保護者は実際の様子を見る機会が少ないので、授業公開の設定等において保護者が参観しやすいように配慮し、周知することが重要であると考えられる。しかし、この3年間は新型コロナウイルスの対応で授業や学校行事（除く学校コンクール）を保護者に公開することができなかった。

3 施設・設備（学習環境）、校内美化について

質問	肯定的回答											「わからない」の回答						
	教員	順位	1学年	2学年	3学年	生徒	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位	
⑦ 三田高校の施設や設備は、学習環境として満足できるものだと思いますか。	R4	7.4%	28	36.5%	43.8%	44.6%	41.5%	28	29.2%	38.6%	32.1%	33.3%	28	5.0%	5.7%	3.3%	4.7%	17
	R3	19.1%	28	43.5%	37.9%	48.6%	43.0%	27	45.4%	29.3%	32.2%	35.8%	28	5.6%	3.4%	3.5%	4.2%	17
	R2	20.0%	28	39.6%	31.2%	51.2%	39.9%	27	36.1%	27.9%	33.3%	32.2%	28	3.8%	6.2%	6.7%	9.1%	15
⑧ 三田高校では、みんなで校内整美に努力していると思いますか。	R4	57.4%	27	55.9%	42.3%	42.9%	47.3%	26	58.4%	61.0%	58.7%	59.4%	20	24.2%	20.0%	20.7%	21.7%	10
	R3	68.1%	27	50.6%	33.7%	39.9%	41.4%	28	60.7%	59.2%	55.2%	58.7%	23	25.5%	21.4%	23.1%	23.3%	9
	R2	35.6%	27	42.5%	34.2%	43.3%	39.8%	28	56.7%	57.9%	56.5%	57.1%	25	23.8%	15.3%	23.2%	24.6%	6

⑦「施設・設備」については、三者ともに例年どおり否定的回答が肯定的回答よりも多く、特に今年度1学年においては、生徒、保護者共に顕著である。肯定的回答が全項目中、生徒・教員・保護者共に1番少なく、否定的回答が際立って多い。経営企画室を中心に、施設の破損状況を随時修繕要望として提出し、生徒の安全に配慮した施設管理を行い、学習環境の保全に努めている。しかし、誰の目にも明らかな目立った改善箇所がないと毎年この結果は変わらないだろう。

⑧「校内美化」については、肯定的回答が生徒・保護者は微増している。肯定的回答が生徒では全設問中3番目に少なく、教員では2番目に少ない。保護者では肯定的回答が過半数ではあるが、全設問中の下位に属している。保健部や整理委員会、保健委員会が中心となり、清掃用具の整備・ゴミ分別の徹底、教室内の換気や加湿等、校内美化と環境整備に努めているが、日常の清掃活動や校内美化に対する学校全体での意識を高めて取組を継続する必要がある。

4 進路指導・キャリア教育等について

「わからない」の回答

質問	教員	順位	生徒					保護者					「わからない」の回答					
			1学年	2学年	3学年	順位	1学年	2学年	3学年	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位			
⑨ <教員>あなたは、生徒・保護者が必要とする進路情報を提供し、適切な進路指導をしていますか。 <生徒・保護者・R1教員>三田高校では、生徒・保護者が必要とする進路情報を提供し、適切な進路指導をしていると思いますか。	R4	100%	1	92.4%	92.1%	85.4%	90.0%	8	74.4%	78.0%	76.9%	76.4%	13	18.3%	6.7%	3.2%	9.8%	14
	R3	100%	1	93.7%	90.4%	94.7%	92.8%	5	72.4%	82.0%	82.5%	78.7%	16	24.0%	10.7%	8.4%	14.9%	12
	R2	95.6%	12	93.4%	87.7%	94.4%	91.7%	5	76.9%	78.2%	87.0%	80.3%	13	9.2%	1.7%	9.5%	10.2%	12
⑩ <教員>あなたは、将来の在り方や生き方を考える様々な機会を与えていますか。 <生徒・保護者・R1教員>三田高校では、将来の在り方や生き方を考える様々な機会を与えていると思いますか。	R4	89.8%	18	92.7%	87.9%	83.3%	88.1%	11	76.6%	77.0%	72.3%	75.5%	14	18.3%	12.9%	15.8%	15.7%	11
	R3	97.9%	9	91.8%	85.8%	85.0%	87.7%	10	78.6%	79.5%	75.5%	78.1%	14	17.9%	11.7%	15.4%	14.9%	11
	R2	95.6%	12	93.5%	82.2%	82.8%	86.4%	11	80.7%	77.8%	80.8%	79.6%	14	12.6%	9.0%	11.2%	15.2%	10
⑪ <教員>※三田高校には、自分の進路や将来の生き方について考えている生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者・R1教員>あなたは、自分の(お子さん)の進路や将来の生き方について考えていますか。	R4	88.7%	19	84.4%	86.6%	86.7%	85.8%	14	92.2%	95.2%	93.5%	93.6%	3	1.8%	0.5%	0.0%	0.8%	27
	R3	95.7%	14	85.1%	85.4%	91.3%	87.0%	13	94.4%	93.7%	97.9%	95.0%	2	1.0%	0.0%	0.0%	0.4%	28
	R2	86.7%	21	91.6%	79.4%	82.3%	84.7%	13	93.8%	93.7%	95.5%	94.2%	3	1.3%	0.0%	1.1%	1.5%	26
⑫ <教員>※あなたは、将来や世界に向けて視野を広げる教育をしていますか。 <生徒・保護者・R1教員>三田高校では、将来や世界に向けて視野を広げる教育をしていると思いますか。	R4	83.7%	22	91.3%	87.5%	84.2%	87.8%	12	83.6%	76.1%	73.4%	77.9%	10	12.8%	13.9%	13.6%	13.4%	13
	R3	91.5%	20	94.1%	81.2%	85.0%	86.9%	14	82.7%	78.5%	78.3%	80.0%	11	11.2%	11.2%	14.0%	11.9%	13
	R2	91.1%	18	80.3%	84.0%	91.6%	84.8%	12	86.0%	79.2%	85.9%	83.3%	12	10.8%	6.2%	9.1%	9.4%	13

⑨「適切な進路指導」については、肯定的回答が教員は100%で、生徒・保護者では横ばい状態だった。保護者については、1年保護者で「わからない」の回答が20%近くあるが、昨年の1学年に比べると少ない。現3年生について入学年度から見ると、保護者の「わからない」の回答がかなり減少した。

⑩「将来を考える機会」については、教員は肯定的回答が減少した。生徒・保護者でも減少した。生徒について学年別に見ると、直近3年間、1年生で肯定的回答が多い。現3年生の入学年度からの推移について見ても、1年次の肯定的回答が最も多い。1学年の総合的な探究の時間(人間と社会)等により将来の在り方や生き方を考える指導を行っていることが反映されていると思われる。

⑪「将来について考えている」は、一昨年度新たに加えた項目である。一昨年度は保護者の肯定的回答が生徒・教員と比較して多かった。昨年度は生徒・保護者で肯定的回答が1~2%程度増加したのに対し、教員では9%増加し、保護者の数値をわずかに上回った。生徒について学年別に見ると、一昨年度は1年生で肯定的回答が最も多かったが、昨年度は3年生で肯定的回答が2年次より約12%増加し、3年生で最も多い結果となった。保護者については、一昨年度昨年度は3年生保護者で他学年より肯定的回答が多いが、生徒に比べて学年による差は小さい。今年度は生徒・保護者共に学年別の差は殆どなかった。

⑫「視野を広げる教育」については、教員では一昨年度・昨年度は91%台で推移していた。それに比較すると今年度はやや下がった。生徒全体では肯定的回答が連続して微増しているが、学年別に見ると、一昨年度は3年生で肯定的回答が最も多かったが、今年度と昨年度は1年生で肯定的回答が最も多かった。保護者全体では肯定的回答が少し減少した。現3年生について入学年度から見ると、生徒は肯定的な回答が漸増しているが、保護者は反対に徐々に減少している。

本校では、1年生から2年生2学期までは知的好奇心と高い志を涵養する取り組みを主としつつ、2年生3学期からは受験生としての意識を持たせるように、指導のスタンスを切り替えることで、志の育成と進路実現とを図っており、本校の教育の特色である国際理解教育の学校行事は1・2学年で実施している。コロナ禍において一昨年度の1・2学期は両学年とも実施できなかったのに対して、昨年度は1学年で予定どおり実施できたが、2学年の台湾修学旅行と事前指導を中心とした行事は中止せざるを得なかった。現3年生で1・2年次ともに肯定的回答が最も少ないのは、新型コロナウイルスの学校行事への影響を反映していると考えられる。

5 生活指導について

「わからない」の回答

質問	教員	順位	生徒					保護者					「わからない」の回答					
			1学年	2学年	3学年	順位	1学年	2学年	3学年	順位	1学年	2学年	3学年	保護者	順位			
⑬ <教員>三田高校には、基本的な生活習慣が身に付いた生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた(あなたのお子さん)は、基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。	R4	90.7%	16	73.2%	77.5%	79.2%	76.5%	17	76.6%	73.2%	82.2%	77.1%	11	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%	28
	R3	93.6%	16	80.0%	67.4%	77.8%	74.8%	20	82.1%	77.2%	86.0%	81.3%	12	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	26
	R2	95.6%	12	71.3%	78.8%	74.9%	75.0%	20	84.1%	84.5%	84.7%	84.5%	11	0.0%	0.6%	0.2%	0.8%	27
⑭ <教員>三田高校には、規範意識を持った生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた(あなたのお子さん)は、規範意識を持っていると思いますか。	R4	90.7%	16	94.7%	88.3%	85.8%	89.8%	9	89.4%	89.0%	89.7%	89.4%	5	2.8%	1.0%	0.5%	1.5%	24
	R3	93.6%	16	92.2%	85.4%	89.9%	89.1%	8	92.3%	87.9%	95.1%	91.4%	5	1.0%	1.5%	0.0%	0.9%	24
	R2	93.3%	17	89.1%	90.7%	88.4%	89.5%	6	93.3%	93.3%	93.8%	93.4%	6	0.8%	1.7%	1.3%	1.9%	25
⑮ <教員>三田高校には、品位ある生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた(あなたのお子さん)は、品位ある行動ができていますか。	R4	92.6%	14	90.5%	87.9%	86.7%	88.4%	10	84.9%	85.6%	88.1%	86.1%	8	5.0%	2.4%	2.7%	3.4%	20
	R3	91.5%	20	81.6%	85.1%	89.9%	85.2%	16	89.3%	87.3%	91.6%	89.2%	8	4.6%	1.5%	1.4%	2.6%	20
	R2	95.6%	12	84.0%	88.1%	87.9%	86.6%	10	88.5%	91.7%	94.4%	91.4%	7	2.5%	1.7%	2.1%	3.2%	21

⑬「基本的な生活習慣」については、生徒では肯定的回答が昨年度一昨年度と同程度であるが、教員・保護者では少し減少した。学年別に見ると、生徒は学年が上がるほど肯定的回答が増加している。保護者では肯定的回答が今年度はやや減少している。

⑭「規範意識」については、教員は肯定的回答が昨年度よりやや減少した。生徒では学年が上がるほど肯定的回答が低下している。保護者では肯定的回答が高い値であるがここ3年間漸減している。

⑮「品位」については、教員と生徒では肯定的回答がやや増加した。保護者では肯定的回答がここ3年間度ほどの学年でも漸減している。学年別に見ると、昨年一昨年は、生徒では学年が上がるにつれて肯定的回答が増加傾向にある。保護者では一昨年度と今年度は学年が上がるにつれて肯定的回答が増加しているが、昨年度は2年生で肯定的回答が最も少なかった。

生徒・保護者・教員ともに概ね、規範意識を持ち、品位ある生徒が多いと評価していると判断できる。しかし、基本的な生活習慣の肯定的回答は、他の2項目より、生徒では10～15%、保護者では8～10%少ない。教員の自由記述には、生徒指導において教員間の連携を求める内容があった。生徒・保護者では、服装指導を中心に校則の理由の説明・見直しを求める内容が見受けられた。教員の共通理解と同時に生徒・保護者の理解を図り、継続して組織的に指導に取り組む必要がある。

6 特別活動・学校生活等について

「わからない」の回答

質問		教員	順位	1学年			2学年			3学年			生徒	順位	1学年			2学年			3学年			保護者	順位	1学年			2学年			3学年			保護者	順位
				1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年			1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年			1学年	2学年	3学年								
⑯ <教員>三田高校には、学校行事に積極的に取り組む生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた（あなたのお子さん）は、学校行事に積極的に取り組んでいますか。	R4	98.1%	8	97.0%	91.7%	88.8%	92.6%	5	95.4%	92.8%	93.5%	94.0%	2	0.5%	1.9%	1.1%	1.1%	26																		
	R3	100%	1	89.0%	85.8%	86.5%	87.1%	12	92.3%	91.2%	88.1%	90.8%	4	2.0%	1.5%	4.2%	2.4%	21																		
	R2	97.8%	6	92.4%	87.7%	79.1%	87.0%	8	94.2%	93.3%	80.8%	90.1%	8	0.4%	6.2%	2.1%	3.9%	20																		
⑰ <教員>三田高校には、部活動に積極的に取り組む生徒が多いと思いますか。 <生徒・保護者>あなた（あなたのお子さん）は、部活動に積極的に取り組んでいますか。	R4	94.4%	11	96.0%	88.4%	90.6%	91.9%	6	93.6%	83.3%	90.3%	89.1%	6	2.3%	7.2%	3.2%	4.2%	19																		
	R3	93.6%	16	93.1%	91.7%	86.2%	90.7%	6	91.6%	94.9%	91.0%	92.7%	6	0.5%	0.5%	1.5%	0.8%	25																		
	R2	97.8%	6	94.9%	80.2%	47.1%	76.4%	18	92.3%	83.8%	38.9%	74.0%	16	4.6%	32.0%	11.1%	11.1%	11																		
⑱ 三田高校では、体罰やいじめがなく安心して学校生活を送れますか。	R4	100%	1	98.9%	98.8%	98.8%	98.8%	1	93.6%	90.9%	95.7%	93.3%	4	5.5%	6.2%	2.7%	4.9%	16																		
	R3	100%	1	98.4%	98.9%	98.6%	98.6%	1	93.9%	91.2%	95.8%	93.4%	3	5.6%	5.9%	4.2%	5.3%	16																		
	R2	100%	1	99.6%	97.4%	99.1%	98.7%	1	95.2%	94.2%	96.0%	95.0%	2	4.2%	2.8%	3.7%	6.6%	17																		
⑲ 三田高校では、防災教育が適切に行われていると思いますか。	R4	64.2%	25	60.8%	63.8%	38.8%	54.6%	25	34.9%	46.9%	41.8%	41.1%	26	56.0%	45.9%	46.7%	49.8%	3																		
	R3	83.0%	23	63.5%	42.9%	64.3%	56.3%	26	38.3%	40.0%	69.2%	47.1%	27	57.7%	49.8%	27.3%	46.7%	2																		
	R2	75.6%	25	49.1%	66.9%	69.8%	61.3%	25	38.6%	67.4%	72.2%	59.2%	24	21.8%	17.6%	32.0%	37.2%	2																		

⑯「学校行事」では、過去2年間のコロナ禍においても、肯定的回答は以前と同程度の数値を維持していた。今年度は各学年とも生徒も保護者も肯定的評価が上昇した。今年はまだ完全な形ではないが久しぶりの体育祭、文化祭や合唱コンクールが実施された（合唱コンはアンケート実施後）。学校行事については、生活指導部が学年と連携して指導し、生徒による実行委員会が主体的に運営する体制が定着し、指導における教員の共通理解と生徒のモチベーションが高まっている。制約が多い中で実施方法を工夫し、実行委員会を中心に生徒が主体となって学校行事に取り組んだことが評価結果につながったと考えられる。それでも、自由記述の中には、過去の学年において修学旅行が実施できず残念という声もあった。

生徒・保護者の自由記述においては、コロナ対応として理解していただいている内容も一部あるが、修学旅行の中止、体育祭・文化祭の実施形態について、学校あるいは都教育委員会の対応に対する否定的な内容が多い。肯定的回答の割合から生徒の学校行事への取組の満足度はある程度読み取れるが、中止や実施形態変更等の対応に対する生徒・保護者の心情にも配慮していきたい。

⑰「部活動」については、一昨年度は新型コロナウイルス対応で3年生にとっては活動できる最後の期間に部活動が中止となり、高体連・高野連等主催の公式大会も中止となり、3年生の肯定的回答が生徒で50%を下回り、保護者では40%を下回ったため、全学年の平均でも肯定的回答が減少した。昨年度は、活動時間の制限等はあったが、公式試合は実施されたため、生徒・保護者ともに肯定的回答が2・3年生で増加し、全学年で一昨年度を上回った。今年度の肯定的回答は学年によりやや差があった。2年生の肯定的回答が生徒も保護者も昨年度を下回った。

⑱「体罰・いじめがない」については、肯定的回答が昨年度同様生徒・保護者の全学年で90%を超え、生徒では全項目中で直近3年間連続で最も多く、保護者では4番目に多く、教員でここ年間連続で100%と三者ともに評価が高い。今後もSNS学校ルールの指導やいじめ調査（年3回）・体罰調査の聞き取りを中心に情報収集を丁寧に継続していくことが重要である。

⑲「防災教育」については、一昨年度は三者ともに肯定的回答が大幅に減少し、昨年度も生徒・保護者では連続して減少したが、教員では肯定的回答が増加した。保護者では一昨年度から「わからない」が連続して増加し、全項目中2番目に多くなり、肯定的回答が「地域との良好な関係」を下回った。新型コロナウイルス対応により、1年生で実施していた宿泊防災訓練が一昨年度から中止となり、避難訓練は一昨年度から放送による訓練となったこと等が大きな要因と考えられる。宿泊防災訓練については昨年度から推進校のみの実施となり、本校では代わりに1年生で総合防災訓練の実施を計画している。（7月に実施予定であったが、3月に延期されている。）敷地が狭く実践的訓練に制約があるが、生徒の意識に残る避難訓練・防災訓練を繰り返し実施する等、防災教育の推進を図る必要がある。自由記述からも生徒の防災意識の高さが感じられるものが多かった。

7 生徒・保護者への対応、地域との連携について

「わからない」の回答

質問		教員	順位	1学年			2学年			3学年			生徒	順位	1学年			2学年			3学年			保護者	順位	1学年			2学年			3学年			保護者	順位
				1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年			1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年													
⑳ 三田高校では、生徒・保護者からの相談や連絡に、適切に対応していると思いますか。	R4	100%	1	92.8%	95.4%	90.4%	92.9%	4	68.8%	73.2%	69.7%	70.6%	16	27.5%	20.6%	19.5%	22.7%	8																		
	R3	100%	1	95.3%	93.1%	96.6%	94.9%	4	63.8%	67.5%	75.5%	68.3%	21	33.2%	24.8%	20.3%	26.6%	7																		
	R2	100%	1	93.5%	94.8%	95.8%	94.6%	4	69.7%	75.4%	72.7%	72.8%	18	15.8%	14.8%	19.2%	20.8%	9																		
㉑ 三田高校は、地域の方々と良い関係を築いていると思いますか。	R4	73.6%	24	67.3%	67.9%	52.9%	62.9%	23	32.9%	42.6%	49.7%	41.3%	25	64.4%	55.5%	41.6%	54.5%	2																		
	R3	83.0%	23	74.5%	59.0%	66.7%	66.7%	23	46.4%	52.7%	53.1%	50.6%	26	51.0%	45.4%	43.4%	46.9%	1																		
	R2	84.4%	22	59.6%	58.7%	71.5%	62.7%	23	38.6%	48.1%	57.4%	47.6%	27	45.2%	36.9%	47.7%	41.1%	1																		

⑳「相談・連絡への対応」については、昨年度一昨年度共に肯定的回答が生徒・保護者ともに高かった。今年度生徒は昨年度より肯定的回答が減少した。保護者では一昨年度と同程度にやや増加した。教員では3年連続で100%である。生徒では3年間とも肯定的回答が90%以上であるが、保護者では「わからない」が20%以上あり、肯定的回答は生徒と比較すると20%以上少ない。学年別に見ると、生徒では各学年で90%以上の高い割合となっている。保護者では2学年が最も高いが、1・3年と大きな差はない。「わからない」が昨年より減少し、肯定的回答がやや増加している。

㉑「地域との良い関係」については、教員では肯定的回答が以前まで90%台で推移していたが、一昨年度・昨年度は80%台前半に、今年度は70%台前半に減少した。生徒・保護者ともに例年、全設問平均を下回り、教員との評価の差が大きい項目で、一昨年度は肯定的回答が更に減少したが、昨年度今年度は少し回復した。保護者では毎年「わからない」が全項目中で最も多いが今年度は下から2番目であった。

夏季休業日中に実施していた本校1年生による赤羽小学校児童に対する学習支援はコロナ禍で一昨年度・昨年度は中止となったが、昨年度今年度は赤羽小学校の「町探検」の行事で児童の訪問を受け入れたり、昨年度はダンス部が赤羽小学校及び赤羽幼稚園で公演を実施した。水泳部では地域清掃を実施した。例年、中学校からの要請で上級学校訪問の受け入れや進路選択のための講演を実施している。ユネスコ委員会は港ユネスコと連携し、ユネスコの行事に参加したり、近隣の大使館訪問（今年度は3月に大使館訪問予定）を実施している。隣接する赤羽小学校・赤羽幼稚園や中学校、地域との連携を深める機会を増やすと同時に、保護者への通知やホームページ等による情報発信の充実を図ることが重要である。

8 東京都教育委員会指定事業について

「わからない」の回答

質問	教員	順位	1学年			2学年			3学年			生徒			保護者			
			1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	
㉒ (上の説明を読む前から)三田高校が、「進学指導推進校」に指定されていることを知っていた。	R4	98%	8	83.3%	79.2%	81.3%	81.3%	16	87.7%	87.6%	89.2%	88.1%	7	3.2%	2.9%	3.2%	3.1%	21
	R3	100%	1	79.6%	80.5%	83.6%	81.1%	17	88.7%	91.7%	97.2%	92.1%	9	4.1%	1.0%	1.4%	2.2%	22
	R2	98%	9	81.1%	82.5%	82.8%	82.1%	16	92.3%	93.1%	95.8%	93.6%	5	0.0%	0.6%	0.8%	0.8%	27
㉓ 「進学指導推進校」としての三田高校の事業による成果があがっている。	R4	96.2%	10	81.4%	81.6%	85.0%	82.6%	15	65.8%	67.0%	70.8%	67.7%	18	31.1%	28.7%	20.0%	26.9%	7
	R3	98%	9	86.7%	82.8%	87.9%	85.6%	15	66.7%	67.2%	74.6%	68.9%	17	28.7%	27.0%	23.2%	26.6%	6
	R2	100%	1	81.8%	73.2%	87.9%	80.5%	17	68.9%	71.2%	82.8%	73.7%	17	22.3%	13.0%	21.7%	22.8%	8
㉔ ※オンライン学習やICT機器及びクラウドを活用した学習は生徒(あなた・あなたのお子さん)の学習に対する理解を高めている。	R4	86.5%	21	46.6%	74.6%	60.8%	60.2%	24	58.4%	61.2%	46.2%	55.7%	22	24.7%	22.0%	19.0%	22.1%	9
	R3	81%	25	70.6%	61.3%	73.4%	68.0%	21	66.2%	55.4%	56.7%	59.6%	18	15.4%	14.2%	23.4%	17.0%	10
	R2																	
㉕ ※課題研究やホームプロジェクト等の三田高校の探究学習への取組による成果があがっている。 R1・2 「知的探究イノベーター推進校」としての三田高校の事業による成果があがっている。	R4	88.7%	19	78.6%	70.0%	76.7%	75.2%	18	57.1%	59.3%	57.1%	57.8%	21	36.1%	32.5%	31.5%	33.5%	5
	R3	91.5%	20	83.1%	73.6%	73.4%	76.9%	19	57.9%	67.2%	64.1%	63.0%	24	35.9%	22.5%	28.2%	28.8%	4
	R2	84.1%	24	82.2%	64.6%	81.4%	75.7%	19	56.0%	61.9%	75.7%	63.8%	23	29.0%	20.1%	30.5%	31.6%	3
㉖ (上の説明を読む前から)三田高校が、「GE-NET 20」に指定されていることを知っていた。	R4	93%	13	38.9%	62.9%	30.0%	43.8%	27	47.0%	64.6%	40.5%	51.1%	24	17.4%	10.0%	18.4%	15.2%	12
	R3	100%	1	88.6%	85.4%	88.4%	87.4%	11	84.6%	88.7%	92.3%	88.2%	10	5.1%	0.5%	2.1%	2.6%	19
	R2	98%	9	85.1%	89.6%	85.6%	86.8%	9	91.8%	93.6%	96.4%	93.8%	4	1.7%	1.2%	1.8%	3.0%	22
㉗ 「GE-NET 20」としての三田高校の事業による成果があがっている。	R4	81.5%	23	64.1%	72.9%	52.5%	63.2%	22	36.5%	45.0%	27.6%	36.7%	27	57.1%	47.8%	61.6%	55.3%	1
	R3	97.9%	9	87.1%	70.9%	73.4%	77.3%	18	61.5%	63.7%	65.5%	63.4%	22	30.3%	25.5%	21.1%	26.1%	8
	R2	88.6%	20	84.7%	61.0%	76.3%	73.9%	22	68.6%	68.3%	76.9%	70.8%	20	22.6%	16.6%	22.1%	23.5%	7

東京都教育委員会指定事業については、平成29年度から取組内容を示した形に変更し、回答しやすいように工夫をした。

㉒「進学指導推進校の認知」については、肯定的回答が生徒では79~83%、保護者では87~89%で推移し、保護者の方が生徒より10%近く多い。

㉖「英語教育推進校」から変わった「GE-NET 20の認知」については、肯定的回答が生徒・保護者共に著しく減少した。生徒と保護者共に平均は40~50%台であった。

㉓㉔㉕㉗の各事業の成果については、いずれも保護者では「わからない」が多く、肯定的回答は生徒より大幅に少ない。「オンライン学習やICT機器及びクラウドを活用した学習・・・の成果」については生徒・保護者共に低かった。事業の成果については、保護者には評価が難しいと思われる。生徒では、㉓「進学指導推進校の成果」は肯定的回答が過去2年間増加傾向であったが、今年度は昨年度より低かった。㉕「探究学習の成果」は昨年度より少し減少した。㉗「英語教育推進校」から発展的に変わった「GE-NET 20の成果」については、昨年度より大幅に減少し、生徒で約63%、保護者で約37%であった。㉔「デジタルを活用した学習の成果」は昨年度「知的探究イノベーター推進校」指定終了に伴い質問内容を変更した質問である。肯定的回答が少なかった。今後、肯定的回答が増加するよう改善を図りたい。

9 働き方改革及びライフ・ワーク・バランスの推進について

「わからない」の回答

質問	教員	順位	1学年			2学年			3学年			生徒			保護者			
			1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	
㉘ <教員>三田高校は、教職員一人ひとりが仕事と家庭生活を両立させていきいきと働くことのできる職場づくりに取り組んでいる。<生徒・保護者>国や都や学校が働き方改革に取り組んでいることを知っていた。	R4	61.1%	26	71.4%	72.9%	68.8%	71.0%	19	78.1%	75.5%	75.5%	76.4%	12	9.6%	10.6%	8.7%	9.7%	15
	R3	72.3%	26	67.5%	64.8%	71.0%	67.5%	22	80.9%	72.1%	80.3%	77.4%	13	7.7%	8.8%	8.5%	8.3%	14
	R2	67.4%	26	74.2%	69.9%	82.3%	75.0%	21	73.4%	75.7%	83.1%	77.0%	15	9.0%	7.2%	8.7%	9.3%	14

この項目は、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図るため積極的に取り組んでいるかについて評価する観点から、平成30年度に新たに設定するように通知された評価項目である。平成31(令和元)年度に学校でも一斉閉庁日の設定、勤務時間外の留守番電話対応、欠席連絡メール受信対応等の具体的な取組が開始され、生徒の肯定的回答が約14%増加し約4分の3となり、一昨年度も同程度であったが、昨年度は約7%減少した。今年度はさらに減少した。保護者では一昨年度まで2年連続で少しずつ上昇していたが、昨年度、今年度は一昨年度と同程度であった。今年度は。教員の肯定的回答は上昇傾向であった一昨年度、昨年度と比較して10%以上減少している。今年度は、観点別評価、新たな採点システムや事務手続きシステム等が続々導入され、それらの過渡期にあたることと大きいのと考えられる。